

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41人	(回答者数)	41人
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育でお子様一人ひとりに合わせた療育を提供できること。	それぞれに合わせたプログラムを設定しているため、指導員同士での情報共有を大切にしている。また、保護者様からの情報もその都度朝終礼で全体共有することで、情報の漏れが起こらないように徹底しています。 また、1時間の個別療育の中で、静と動の活動を組み込むことで、バランスよく活動を行っていることや、担当指導員を固定しないことで、それぞれの職員目線でお子様の状況を把握しアセスメントをとることができます。	研修に参加したり、他校舎との交流を図り情報収集をすることで、より指導員のスキルアップができ、幅広い目線でご利用者様に療育を提供できるように努めています。
2	支援提供後、保護者様にフィードバックの時間を設けているため、支援中の様子やお家や園での様子を細かく共有できる時間を設けている。	保護者様に同席していただける場合は、支援をみていただいた上でフィードバックを行うことで、どういった意図やねらいを持って活動したのかを明確に伝えることができるように工夫しています。	支援のフィードバック外の時間で、職員に相談がある場合には、家族支援を実施しています。 また、計画更新のタイミングや、日々のお子様やご家族様の様子に変化があったタイミングで、職員からお声がけをし、じっくりとお話をお伺いする時間を設けられるように努めています。
3	関係機関連携で、横とのつながりを広げることで、保育園等から児発の紹介をしていただく機会が増え、児発率アップにつながっている。	また、児発支援の充実を図るために、療育で使用するおもちゃを増やしたり、専門職員による見立てを職員間で共有する時間を設けているため、それぞれの職員がより個々の特性や専門性に沿った療育の提供を行えています。	専門職員による校舎内研修を行うことで、専門性をより高めた療育提供につながるように、今後もチーム一丸となって取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあり、階段移動になるので不便な点。 また、提携の駐車場がないため、同席してもらえらる機会が減ってしまう点。	建物の構造上、対応が難しい状況。	バリアフリーに関しては、事業所に事前にお電話をいただき指導員がお迎えに行くことや、ベビーカーなどの大きい荷物は指導員が対応できるようにしていきます。 同席が難しい場合は、Zoomを通して支援を見て頂ける機会を設定したり、支援内容や教材をフィードバック時により詳しく伝えられるように写真などを用いて共有していきます。
2	地域交流の機会や、外出イベントが充実していない点。	感染症の観点や、事故につながらないように、リスクを考慮し開催を控えている状況。	少人数での開催を検討したり、事前に職員間でリスクの軽減をしっかりと話し合ったうえで近場の公園への外出などを検討していきます。 また、ご利用者様からイベント等の開催テーマを募り、ご利用者様にご満足いただけるイベントの提供に努めています。
3	児発の人数が増えてきたことで、支援提供時間の工夫が必要となり、人員配置数に問題が生じる点。	児発発達支援をご利用いただいている利用者様が、14時台、15時台の時間帯のご利用が主になるため、職員の出勤状況によっては同時開催の支援数が減ってしまう状況。	人員体制を整えることで、より多くのご利用者様に利用して頂けるように工夫していきます。 また、職員の育成を校舎内で取り組んでいきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所

公表日 2026年 1月 7日

利用児童数 2025年12月16日 43名
(保護者数: 41)

回収数 41名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	3	1	0	・一人ひとりスペースがしっかりと確保されている。 ・いつも個室を用意していただいていて、子どもに合わせていただいています。 ・目の届く範囲で十分動いています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	39	0	0	2	・適正な人数かは判断できませんが、子どものことは十分に見てもらえていると思います。 ・利用者数に合わせ適切な人員配置 ・1対1なので十分です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	3	3	1	・事業所がビルの2階であり、エレベーター等はない。 ・適切になされている。 ・周りの音が聞こえるので集中しづらい。 ・子どもがすぐに分かったので大丈夫です。	・校舎が2階にあるので、階段の利用は必須になりますが、けがをしている際や階段の昇降に不安を感じる場合には、保護者様のもとまで送迎し安心して行き来できるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	1	1	0	・仕切りがあり、みんなで使うときは広く使えます。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	0	0	0	・どの先生も、子どものことを理解してくれていると感じます。 ・個々に応じた支援を職員間で共有され支援して下さっている。 ・私が気付いていないような子どもの小さな変化にも気付いてくれます。 ・うまくコミュニケーションをしてくれています。 ・その時の子どもの興味にあわせて支援して下さる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	0	0	1	・楽しめているので大丈夫です。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	0	0	0	・毎週お伝えする子どもの様子を考慮して支援の内容を組んでくださっています。 ・近況報告するのでその時に応じて対応してもらっています。 ・面談などでニーズを把握し、計画に組み込んでくださっている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	1	0	2	・本人の環境を実際に見て頂いたりしています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	0	0	0	・できることが増えている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	1	0	1	・親とのコミュニケーションも取って頂いている。 ・毎回子供の興味に合わせて少しずつ内容を変えてくれている。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	5	8	10	・特にそういった話は聞いていない。 ・きらりさんのイベントで、他のお子様と一緒に活動することがあるので、十分だと思う。 ・利用日が土曜日であることも影響があるのかもしれない。 ・イベントで知っている子や知らない子もいたりします。	・地域のお子様同士での交流の機会を持つことは出来ていませんが、夏祭り等のイベントの際は、ご利用者様のごきょうだいやお友だちにもお声がけし、ご参加いただいています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	0	0	0	・丁寧にありました。	

保 護 者 へ の 説 明 等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	0	0	0	・丁寧にありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	1	1	9	・普段の授業でして頂けていると思います。	・年に3～5回保護者様向けの「きらりカフェ」を開催しております。 ・今後、様々なテーマで開催し、より多くの保護者様へ情報を提供していけるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1	0	1	・フィードバックを丁寧にいただけていると思います。 ・利用後には必ず振り返って状況を説明して下さったり、助言して下さい。 ・子どもの様子を伝えやすいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	1	0	2	・授業(支援)終わりに話せています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	1	0	0	・こちらの話を良く聞いてくれると思います。 ・子どもに合わせてもらえています。 ・ここぞでしか受けられない支援だと思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	2	1	10	・父親が参加する機会を作っていただけ事がとても良かったです。 ・きょうだいを連れていっていますが、一緒に遊ばせて頂けてとても助かっています。 ・兄(付き添い)の相手もしていただき、とても助かっています。 ・イベントで本人のまた違った様子も見られています。	・年に3～5回「きらりカフェ」を開催しております。 ・今後、様々なテーマでの開催を検討し、より多くの保護者様へお声がけできるよう努めていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	1	0	3	・現状に不備がないので、「相談」という認識がありませんでした。 ・本人の進化に伴い先生もそれにあわせて動いていただいています。 ・その都度聞いてくださっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	0	0	0	・お勉強の後に話しているので大丈夫です。 ・話しやすい雰囲気がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	1	0	6	・HPがあるの知らなかったです… ・LINEで見えています。	・毎月2回程度、ブログを更新しており、LINE配信やInstagramの投稿も行っております。
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	0	0	1	・今のところ問題ないので大丈夫です。 ・SNS用の写真撮影でも毎回必ず確認してくださっている。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	0	0	3	・直接はないけれど、説明してもらっているので大丈夫です。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	0	0	6	・立ち会う機会がなかったため。 ・直接はないけれど、説明してもらっているので大丈夫です。	・毎月、職員間で非常時の対応について話し合う機会を作っています。また、お子様にもご参加いただく防災訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	0	0	1	・直接はないけれど、説明してもらっているので大丈夫です。	
満 足 度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	0	5	・事故等が発生したことがないため。 ・直接はないけれど、説明してもらっているので大丈夫です。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	0	0	0	・安心しきっている。 ・きらりさん行こうかと言うと、きらりさん行く～と出発してくれています。 ・慣れてきて嫌がらずに通っています。 ・楽しめています。 ・普段外では固まって動けないが、楽しく活動出来ている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	39	1	0	1	・楽しく通所しています。 ・気分によってムラあり。 ・帰りに嫌がって泣くくらい楽しんでいきます。 ・眠い時も当日ありテンションがいまいちですが、前日から楽しみです。 ・明日きらりかとたくさん行きたがる。	

29	事業所の支援に満足していますか。	41	0	0	0	・親の不安にもいつも丁寧に聞き取って頂き、感謝しかありません。 ・満足しています。 ・本人の当日のコンディションによって臨機応変に対応頂けていることで、本人も来所をとても楽しみにしています。いつも本当にお世話になっています。ありがとうございます。 ・数が増えてたくさん通えたらと思う。	・日頃より事業所の運営にご協力いただきありがとうございます。 - 今後も利用時間、利用頻度に関して、より多くのご利用者様に来所いただけるよう、検討を続けていきます。
----	------------------	----	---	---	---	---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所			公表日	2026 年 1 月 7 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		こどもの状態に合わせて臨機応変に部屋やスペース、時間を変更し対応しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員10名に対し、日々、5名以上の職員を配置しお子様の安全に配慮したサービスを提供しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所への来所に関しては建物の構造上、階段を使う必要がありますが、必要に応じて職員が対応しています。また事業所内（支援室内）はパーテーションで区切って支援スペースを視覚的に示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除や定期的な整理整頓・玩具等の消毒をして、清潔な環境づくりに努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		毎時間どのお子様個室を使うべきか職員間で話し合い利用していると共に、その日のお子様の状態で急遽個室に変更したり、お子様の希望から必要であれば個室を利用できるように努めています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務内容を定期的に職員間で話し合いどのようにしていればよいか改善できるように努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様の評価を職員間で共有する会議を開き把握をしながら改善策を話し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を相談しやすい雰囲気づくりができています。また、気になる点については、サービスの向上を共通認識として改善できるよう話し合っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は受けていないが兵庫県内の会社内の施設の職員間の交流を図り、お互いに業務の改善を図っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内全体で毎月研修制度が設けられている。また、社内の有資格者がそれぞれの専門性を生かした研修を開催しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎年年度末～年度始めにかけてホームページ上で支援プログラムを公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングをして職員と保護者様間でニーズや課題を共有し、児童発達支援計画の作成に努めています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングや計画作成の際には、毎回職員と児童発達管理責任者で話し合いをした後に計画を作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日頃から事業所内で支援やお子様の様子について話し合い、計画に沿った支援内容が提供できるように努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールの利用は不定期なので定期的にツールを活用していきたいと感じています。日々の行動観察や保護者様から頂いた情報をもとにお子様の状況が確認できるように努めています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインを踏まえた上で、必要な支援が提供できるような具体的な支援内容を検討し、実施できるように努めています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で相談しつつ、計画やお子様の様子を加味して活動プログラムを考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		積み重ねが必要な内容は繰り返しつつ、職員間で話し合ったり保護者様の意見も取り入れたりしながら活動プログラムが固定化しないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		祝日や行事のイベントを小集団で計画・実施しており、定期的に小集団での活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼や終礼の中で、情報共有を行っています。支援内容だけでなく業務や役割等について職員間で共有を図り、個別に対応してほしいことなどの声掛けを行い、連携した支援ができるように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援記録を作成し、朝終礼時に今日の支援の中で気になったことや、共有し職員間で周知しています。また、個別に疑問点や、支援での困り感を職員同士で話し合うことで利用者様の状態を把握しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動ごとにお子様の反応、それに対する職員の声掛け、それによる変化などを分かりやすく記録しています。記録をもとに、他職員との連携を図りながら、お子様にとってよりよい支援に繋げていけるように検証改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6か月に1度、見直しと更新をしています。支援で見えられた成長や、今後の課題などに加え、保護者様の思いも踏まえながら見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議や関係機関連携には、担当職員、管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、事業所での様子や今後の対応等を具体的に共有する中で、他福祉サービスとの連携を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育所、幼稚園、小学校、提携医との連携を図り、利用者様の支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、関係機関連携や担当者会議へ参加し、お子様や保護者様がよりよい生活を送れるように、支援内容やお子様の成長、今後のビジョンなどの情報共有を行い、相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要時に関係機関との連携が図れる体制の調整をしています。また対象者向けにサポートファイルの説明会を行い、就学先との情報共有がスムーズにできるようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	地域の児童発達支援センターと連携は図れておらず、スーパーバイズや助言等を受けられてはいません。	今後、必要に応じて連携をとります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行っており、地域の中で他児と活動する機会はありませんが、園連携などの際に情報を共有させていただいています。	関係機関連携で認定こども園、保育園等へ行く機会がありますが、他のお子様と活動する機会には作れていないので、機会があれば行っています。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバックの際にお子様の最近の様子をお聞きすると共に、発達検査を受けた後には結果を報告していただき情報を共有させていただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ご家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族様等の参加できる研修の機会は持っていますが、フィードバックなどの際にご家族様の相談に乗るなどしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援中にお子様の意思を聞いたり、フィードバックなどの際に保護者様の意向をお伺いしながら、指導員同士で情報を共有して話し合い、お子様の最善の利益を優先しています。保護者様に支援計画を確認していただいています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様に「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談に応じ、必要に応じて助言を行ったり、支援に取り入れたり、面談を設定してゆっくりお話を聞いています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェやパパカフェなどのイベントを通して保護者様同士で交流する機会を設けています。またハロウィンやクリスマスなどのイベントの際にはきょうだい児にも来てもらい交流する機会を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		フィードバックの際にご相談をお聞きし、時間をかけてお話を聞きして方がよいと判断される場合には家族支援としてゆっくりとお話を聞けるように迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ・LINE・Instagram等のSNSは定期的に発信し、活動報告や、お知らせを保護者様にお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間でも個人情報の取り扱いには十分配慮しています。個人情報を外に持ち出さないために、情報のもとになるものは表に出さないようにし、HP等に写真を掲載する際には、あらかじめ保護者様に確認を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		それぞれに見合った情報伝達の方法を検討しています。視覚的・聴覚的等、一番伝わりやすい方法で、伝達ができるように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	感染症等拡大防止のため、外部や地域との交流はあまり実施していない状況ではある。定期的ではないが、夏祭りなどの大きなイベントを開催した時には、ご利用されているお子様のお友達も招待する機会を設けています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に事故や感染症等における研修や、事業所内での訓練を行っています。発生した場合を想定した避難訓練や、ロールプレイングを通して、職員の意識を高めています。また、訓練に関してはSNSを通して実施報告を保護者様に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP計画の策定を行っています。月に1度防災訓練を行い、実際にお子様と避難訓練を行う機会も設けています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様との面談時に、服薬や発作等についてお伺いしています。また、情報シート等でも、その都度確認をしています。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に食事を提供するタイミングはありませんが、イベント等で食材を扱う場合は、ご利用されているすべてのお子様に食物アレルギーの有無を確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成しています。お子様や保護者様が安心できる環境で安全に過ごせるよう管理された空間で支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、安全計画の取り組み内容をお伝えしています。そのうえで、質問や疑問点がある場合はその都度お答えしお子様の安全確保に努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書は月に2件を目処に作成しています。再発防止に向けて、職員間での回覧や、共有を行い、対策をみんなで検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修は定期的に行っています。虐待が起こらないように、職員それぞれが意識したり、気にかけてあげています。また、外部での研修も受講し、職員で共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の共通理解は職員間で徹底しています。契約時にも、やむを得ない場合の身体拘束についても保護者様に説明をし、了解を得ています。	